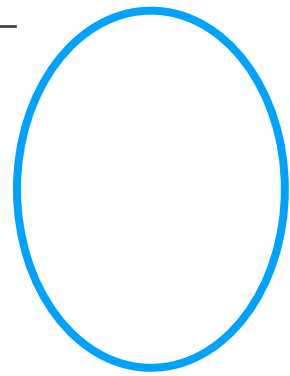


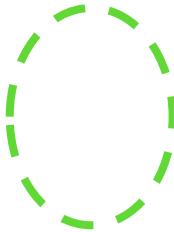
初任者研修の構造を知る④

資源のストレッチ

(グループ演習)

ワークシート2、配布したニーズ整理票（ワークシート3）、ワークシート4を使って演習を行います。



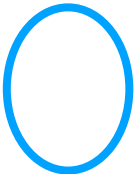


今回の流れ

13:40~13:50 導入講義

13:50~14:10 演習

(個人ワーク5分、グループワーク15分)





演習 1 全体の獲得目標と概要

演習 1 相談支援におけるケアマネジメントに必要な視点と技術

演習 1 を通しての獲得目標

事例を通し、ケアマネジメント手法を用いた個別相談支援、サービス等利用計画作成実務を具体的に理解する（他者に説明できる）。

演習 1 の概要

2 日間で、ひとつの事例を用い、一連のケアマネジメントプロセスを通して学ぶ演習を行う。

特に…

1 日目 インテークからアセスメント、基本相談

2 日目 プランニング、
チーム支援とサービス担当者会議、
モニタリングと終結

基本相談

サービス等利用計画
作成実務

【2】地域の資源を柔軟に捉え、活用する。

見立てから手立てへ

演習の1日目（本人の希望の把握、情報収集、ニーズ整理）と
2日目（プランニング）をつなぐ接点となる、大切な演習です。

サービス等利用計画案作成前のストレッチ

プランニングで重要な視点

サービス等利用計画作成の中で薄まりがちな

- ① ご本人のストレングスを活用した手立てを考える。
→ 本人の動機づけを高めることにもつながる。

「魔法は本人の中にある。」

- ② 福祉サービスの枠に囚われすぎず、柔軟に地域にある様々な資源を活用した手立てを考える。

自由な視点で本人や環境ののストレングスを活かした数多くのアイデアが出されるようになファシリテーションが必要です。

【演習1】ワークシート4 資源獲得・開発のストレッチ - 多様な地域資源を提案してみよう。

本人のゴール	
① ニーズ整理票「本人の表明している希望」	
③ まずは自由に 福祉サービス以外のアイデア あってもなくてもOk あったらいいなでもOK	⑤ 根拠をもって ④ 根拠（着目したストレングス） 格・人柄／個人的特性 才能・素質 環境のストレングス 興味・関心／向上心
提案する資源の活用（アイデア）	
本人のゴールを実現するためのショートステップ	
② ニーズ整理票の「支援課題」を本人の視点で記入	

※根拠は持ちつつ、できるだけ数多く挙げる。

※可能な限り自由に発想し、地域のありとあらゆるものを資源と捉える。

グループワーク

- ①ニーズ整理票で整理した春男さんの表明している希望から、1つだけ選んでください。
- ②選んだ希望をワークシート4の本人のゴールに各自記載してください。

【3分】

【使用するもの】

- ・ワークシート3（ニーズ整理票）
※昨日、グループで使用すると思ったほうのニーズ整理票
- ・ワークシート4（資源獲得・開発のストレッチ）

個人ワーク

グループで選んだ春男さんの表明している希望をもとに
ワークシート4を記入します。

【20分】

【使用するもの】

- ・ ワークシート2（本人像とストレングスの整理票）
※昨日、個人ワークで作成したもの
- ・ ワークシート3（ニーズ整理票）
※昨日、グループで使用すると思ったほうのニーズ整理票
- ・ ワークシート4（資源獲得・開発のストレッチ）

個人ワーク
10:10まで

その後、グループワーク

【演習1】ワークシート4 資源獲得・開発のストレッチ - 多様な地域資源を提案してみよう。

本人のゴール

①

ニーズ整理票「本人の表明している希望」

提案する資源の活用
(アイデア)

⑤

④ 根拠
着目したストレングス)

根拠を
もって

格・人柄／個人的特性

才能・素質

環境のストレングス

興味・関心／向上心

5分

③

まずは自由に

福祉サービス以外のアイデア
あってもなくてもOk
あったらいいなでもOK

10分

本人のゴールを実現するためのショートステップ

3分

②

ニーズ整理票の「支援課題」を本人の視点で記入

※根拠は持ちつつ、できるだけ数多く挙げる。

※可能な限り自由に発想し、地域のありとあらゆるものを資源と捉える。

個人ワークの共有

→ **グループの力を活かした**さらなる討議

さらに自由な発想で本人のゴールに向けたアイデアを出し合う

- ・ 地域のあらゆるものを資源ととらえられる
- ・ フォーマルサービスにとらわれず、柔軟に考える
- ・ 地域の様々な資源にアクセスできる

【昨日からの討議は】
事業所内で行われる検討会議です

—【30分】—今日は個人ワーク分も含めて20分で
個人ワーク5分、グループワーク20分

※当日のグループワークでは、個人ワークを踏まえ、できる限り根拠があり、かつ本人のストレングスを活かしたアイデアを出す。発言が活発にならない場合は、ひとり1アイデアで回してみたり、根拠に立脚する部分をいったん外して自由に発想してみるなどしても良い。手立てに結びつかなかったアイデアは、協議会を活用して資源開発をしていくことも簡単に触れる。地域課題・資源開発の演習は5日目にある。

グループ討議のルール

・グランドルール

- ① **端的に**発言する（最長30秒！）。
- ② **積極的に**参加し、**たくさん**発言する。
- ③ 否定的な発言はしない。**受容的な雰囲気**を醸成する。
- ④ 求められたゴール・課題に向けて発言する。
（自分の興味・関心で発言するのではない！）
- ⑤ **多様な意見**が場に出るようにつとめる。
（自分ばかりが発言しないよう留意する。）
- ⑥ **根拠を持って**発言する。
- ⑦ **時間を守る**（ファシリテータが時間管理します）。

演習では、積極的な発言が望まれますが、受講生の経験の幅などによっては、発言が一部の人に偏ってしまうことがあります。そのため、グランドルールとしてみんなでしっかりと共有しておくことが、演習をスムーズに進めるコツのひとつになります。